



政府統計

平成26年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）

平成27年2月

内閣府

調査概要	2
ポイント	青少年のインターネット利用状況 - 1 (インターネット利用率)	3
ポイント	青少年のインターネット利用状況 - 2 (利用内容)	4
ポイント	青少年のインターネット利用状況 - 3 (利用時間)	6
ポイント	青少年の無線LAN回線の利用状況	8
ポイント	保護者のインターネット利用状況 - 1 (インターネット利用率)	9
ポイント	保護者のインターネット利用状況 - 2 (利用内容)	10
ポイント	保護者のインターネット利用状況 - 3 (利用時間)	12
ポイント	保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知	13
ポイント	青少年のインターネット利用に関する保護者の取組 - 1 (利用状況)	14
ポイント	青少年のインターネット利用に関する保護者の取組 - 2 (取組内容)	15
ポイント	保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験	17
ポイント	家庭のルール	18
参考資料	平成25年度青少年のインターネット利用環境実態調査	
参考資料	青少年の携帯電話・スマートフォンの所有状況	20
参考資料	青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用	21
参考資料	青少年のインターネット利用状況- 1 (携帯電話・スマートフォン)	22
参考資料	青少年のインターネット利用状況- 2 (携帯電話・スマートフォン)	23
参考資料	青少年のインターネット利用状況- 3 (パソコン)	24
参考資料	青少年のインターネット利用状況- 4 (ゲーム機・タブレット型携帯端末・軽音楽プレイヤー)	25
参考資料	フィルタリング等利用率- 1 (携帯電話・スマートフォン)	26
参考資料	フィルタリング等利用率- 2 (携帯電話・スマートフォン)	27
参考資料	家庭のルール (青少年の実態と保護者の認識とのギャップ)	28

1. 調査目的

平成21年度～平成25年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

2. 調査設計

- (1) 方法: 青少年調査 原則として、調査員による個別面接聴取法で調査を実施。
ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法を併用。
保護者調査 原則として、調査員による訪問配布訪問回収法で調査を実施。
ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法及び郵送回収法を併用。
- (2) 対象: 青少年調査 満10歳から満17歳までの青少年 (5,000人) 保護者調査 上記青少年の同居の保護者 (5,000人)
- (3) 調査内容: 青少年及び保護者に対して、下記機器によるインターネット利用状況等について調査。
青少年調査 スマートフォン、いわゆる格安スマートフォン、機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン、携帯電話の契約が切れたスマートフォン、携帯電話、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビの15機器。
保護者調査 青少年調査の15機器から、機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレットを除いた11機器。
- (4) 期間: 平成26年11月8日～12月7日
- (5) 回収結果: 青少年調査 3,441人 (68.8%) 保護者調査 3,637人 (72.7%)
・調査員による個別面接聴取法 3,385人 (67.7%) ・調査員による訪問配布訪問回収法 3,587人 (71.7%)
・WEB調査法 56人 (1.1%) ・WEB調査法 12人 (0.2%)
・郵送回収法 38人 (0.8%)

3. 企画分析会議

- 委員長 藤原 静雄 (中央大学法科大学院 教授)
委員 生田 倫子 (神奈川県立保健福祉大学 専任講師)
国分 明男 ((一財)インターネット協会 副理事長)
小豆川 裕子 ((株)株式会社 NTTデータ経営研究所 公共行政サービスコンサルティングユニット 上席研究員)
西田 光昭 (千葉県柏市立中原小学校 校長)

4. 備考

- ・「機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン」は、以下、「子供向けスマートフォン」という。
- ・「機能限定携帯電話や子供向け携帯電話」は、以下、「子供向け携帯電話」という。
- ・調査結果は、四捨五入しているため、内訳の合計値が計に一致しない場合がある。
- ・調査結果をクロス集計したものについては、本調査では在学中ではない人も含むため、「小学生」、「中学生」、「高校生」の合計値が計に一致しない。
- ・分析軸の該当者が50人未満のクロス集計については、標準誤差が大きくなるため、あくまで参考にとどめるなど、特に留意が必要。
- ・青少年調査の結果は、「調査員による個別面接聴取法」及び「WEB調査法」を合算し、保護者調査の結果は、「調査員による訪問配布訪問回収法」、「WEB調査法」及び「郵送回収法」を合算したもの。
- ・「青少年のインターネット利用環境実態調査」は、平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果と直接比較できない。

ポイント 青少年のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

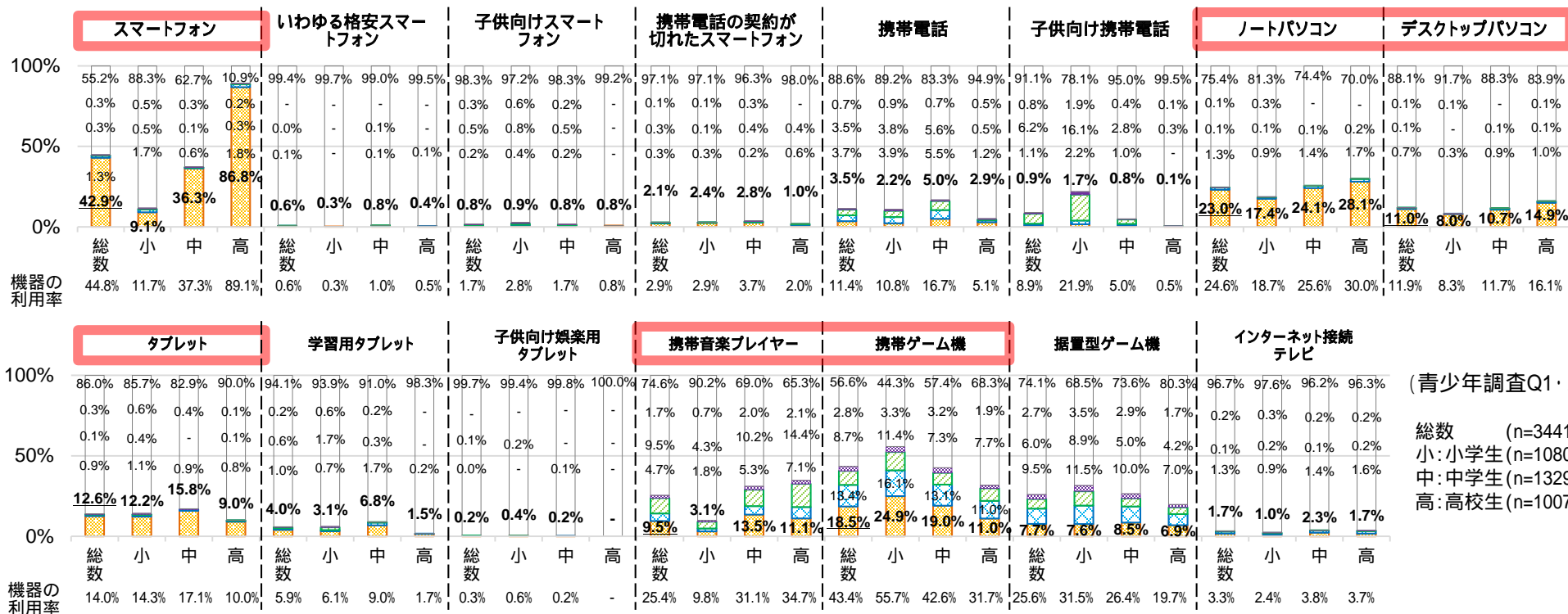
青少年の7割台後半が、いずれかのインターネット接続機器でインターネットを利用。
 インターネットを利用する機器は、スマートフォン(42.9%)、ノートパソコン(23.0%)、携帯ゲーム機(18.5%)、タブレット(12.6%)、デスクトップパソコン(11.0%)、携帯音楽プレイヤー(9.5%)が上位。

各機器における青少年のインターネット利用状況

いずれかの機器を利用する割合
 総数:91.3% 小学生:84.2% 中学生:91.5% 高校生:98.5%
 いずれかの機器でインターネットを利用する割合
 総数:**76.0%** 小学生:53.0% 中学生:79.4% 高校生:95.8%

- : 機器を利用していない
- : 機器を利用しているが、インターネットを利用しているかわからない(1)
- : 機器を利用しているが、インターネットが使えない機種・設定のため、インターネットを利用していない(2)
- : 機器を利用していて、インターネットが使える機種・設定だが、インターネットを利用していない(3)
- : 機器を利用していて、インターネットを利用している(4)

機器の利用率 : 機器を利用している割合の合計値((1)+(2)+(3)+(4))



(青少年調査Q1・2)
 総数 (n=3441)
 小:小学生(n=1080)
 中:中学生(n=1329)
 高:高校生(n=1007)

(注1) 「青少年のインターネットの利用状況 - 1(インターネット利用率)」の数値は、回答した青少年全員をベースに集計。

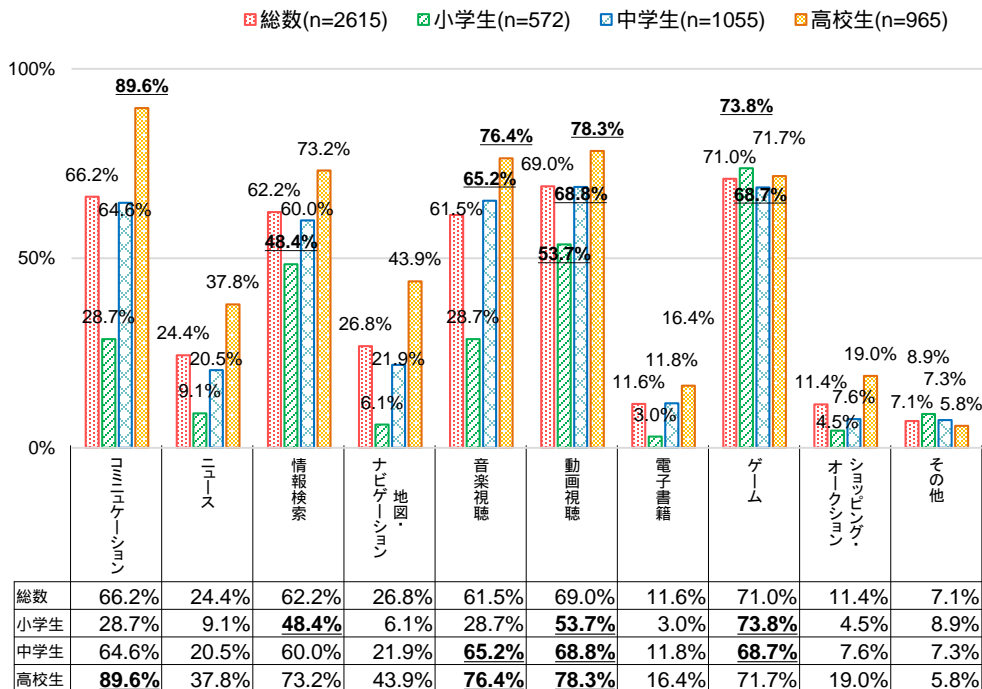
(注2) 「いずれかの機器」とは、青少年に対して調査した15機器。

青少年のインターネットの利用内容は、高校生では、コミュニケーション(89.6%)、動画視聴(78.3%)、音楽視聴(76.4%)が上位。中学生では、動画視聴(68.8%)、ゲーム(68.7%)、音楽視聴(65.2%)が上位。小学生では、ゲーム(73.8%)、動画視聴(53.7%)、情報検索(48.4%)が上位。

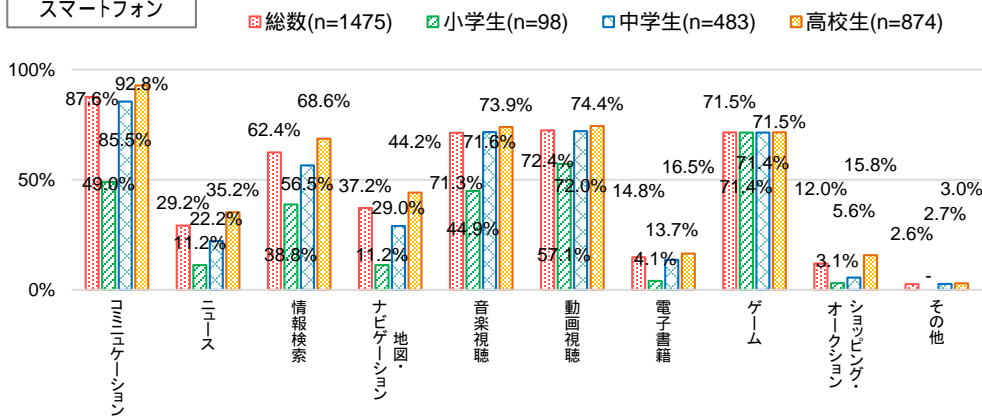
各機器における青少年のインターネット利用内容

(青少年調査Q3)

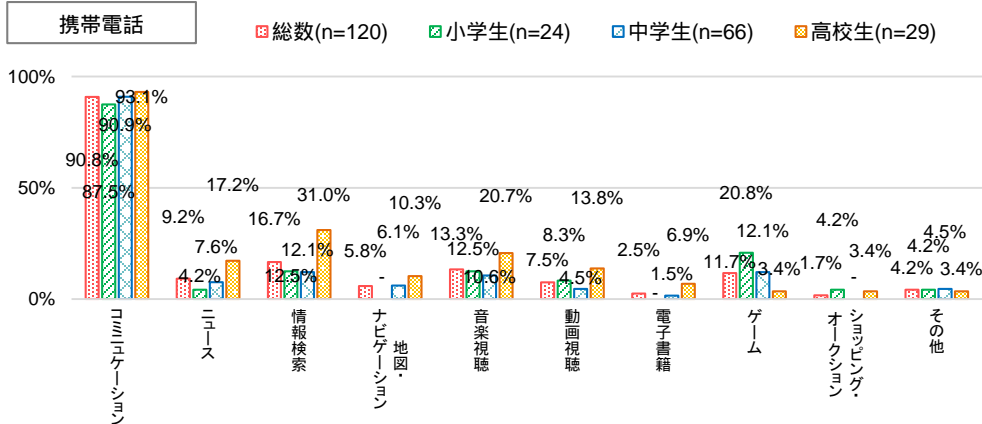
いずれかの利用機器



スマートフォン



携帯電話

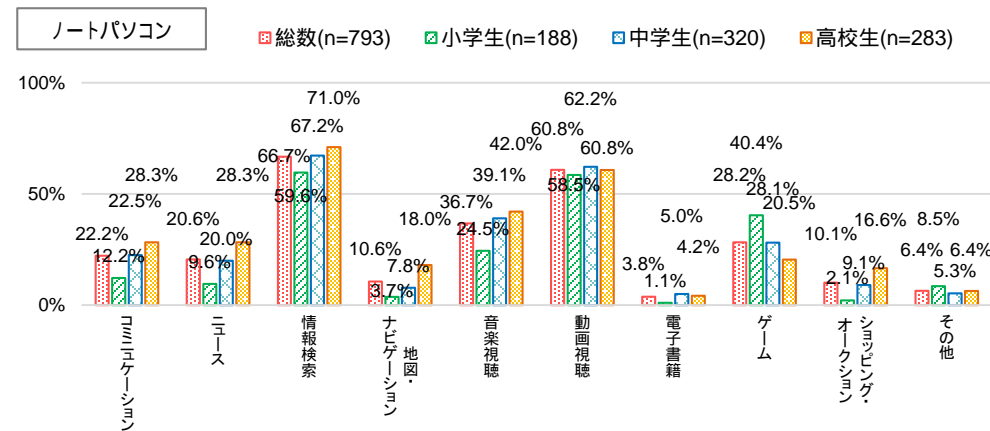
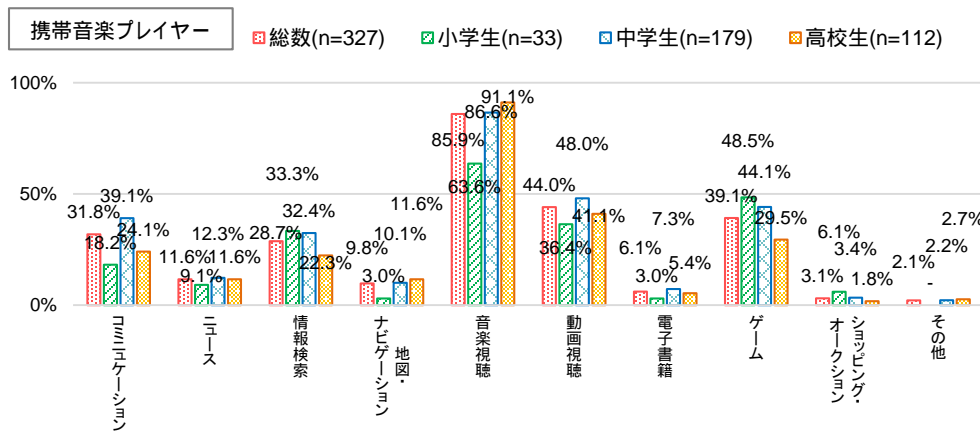
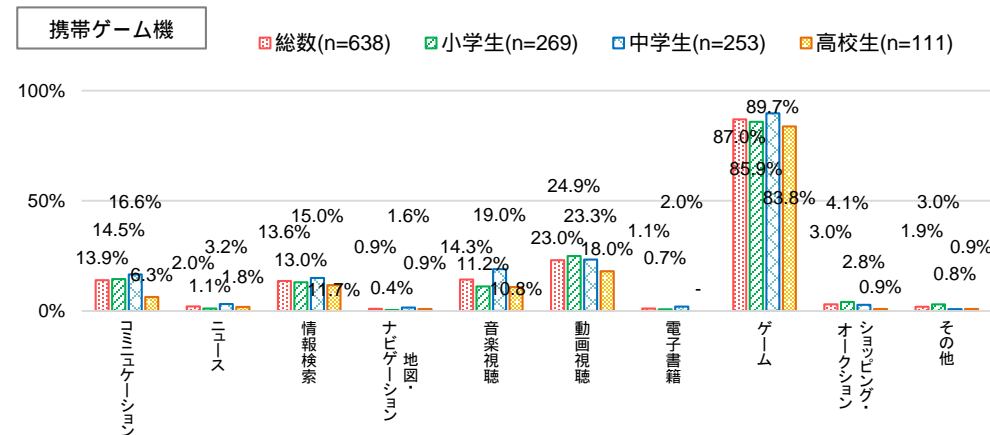
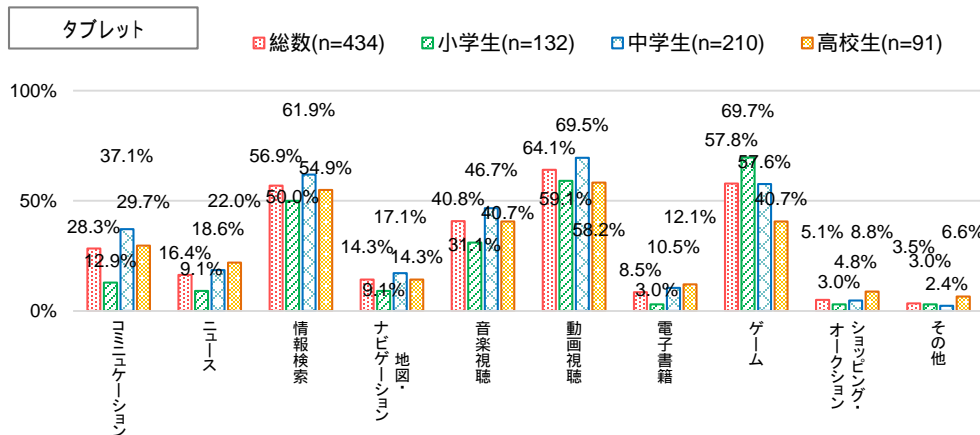


(注1) 「青少年のインターネットの利用状況 - 2 (利用内容)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 「いずれかの利用機器」は、青少年に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

各機器における青少年のインターネット利用内容

(青少年調査Q3)

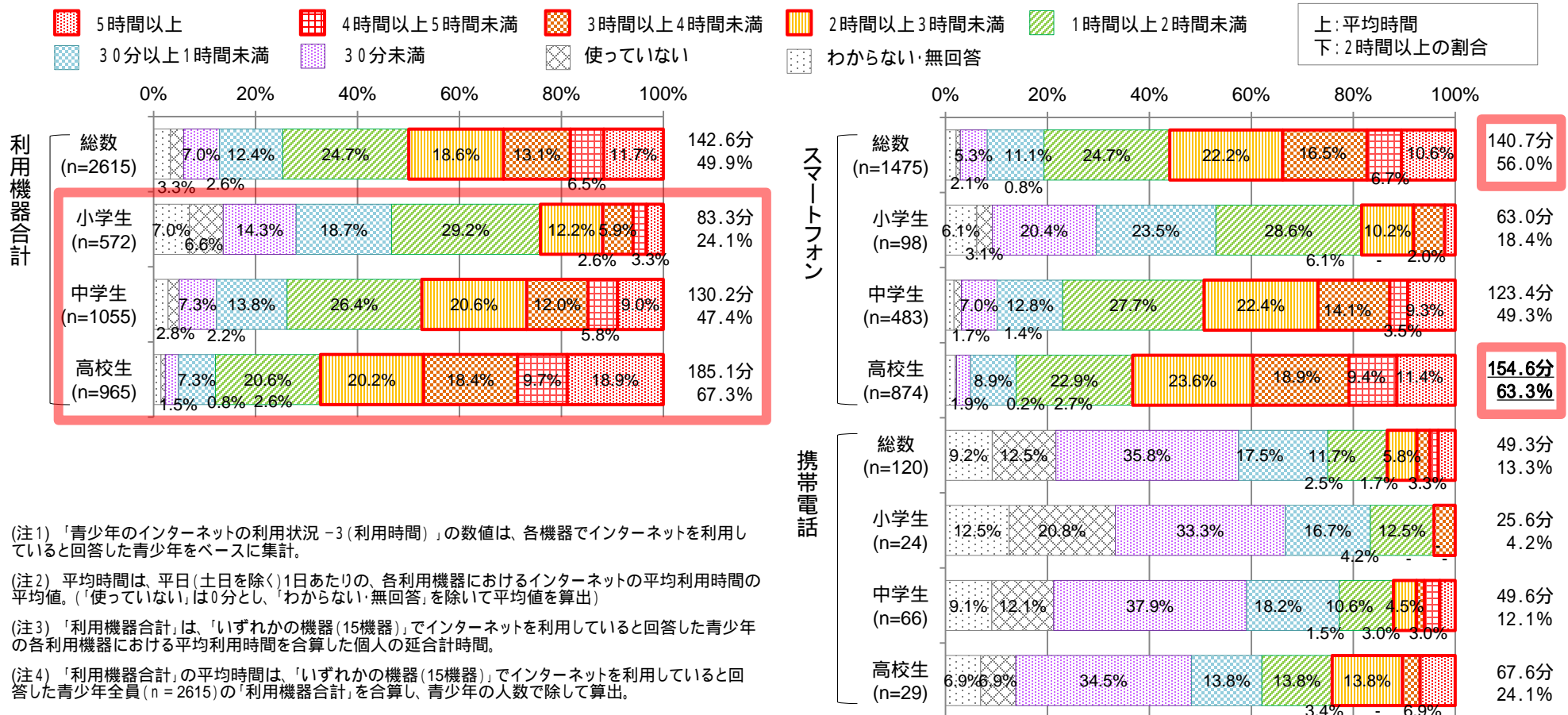


(注) 「青少年のインターネットの利用状況 - 2 (利用内容)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

青少年のインターネット利用は、学校種が上がるとともに長時間傾向。とりわけ、青少年のスマートフォンを通じたインターネット利用が長時間化。高校生では、6割前半がスマートフォンを通じて2時間以上インターネットを利用。平均時間は約155分。

各機器における青少年のインターネットの利用時間

(青少年調査Q4)



(注1) 「青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用時間)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

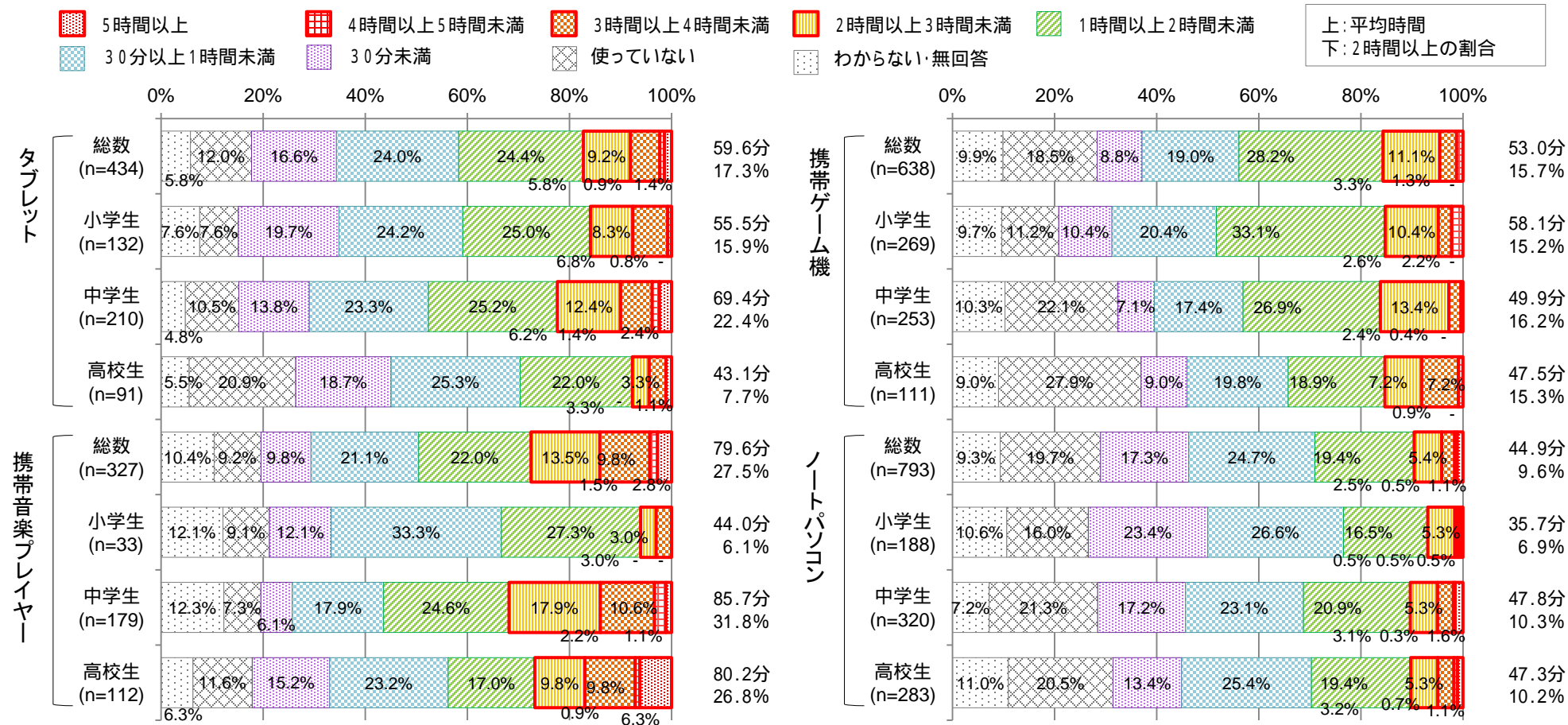
(注2) 平均時間は、平日(土日を除く)1日あたりの、各利用機器におけるインターネットの平均利用時間の平均値。「使っていない」は0分とし、「わからない・無回答」を除いて平均値を算出。

(注3) 「利用機器合計」は、「いずれかの機器(15機器)」でインターネットを利用していると回答した青少年の各利用機器における平均利用時間を合算した個人の延合計時間。

(注4) 「利用機器合計」の平均時間は、「いずれかの機器(15機器)」でインターネットを利用していると回答した青少年全員(n=2615)の「利用機器合計」を合算し、青少年の人数で除して算出。

各機器における青少年のインターネットの利用時間

(青少年調査Q4)



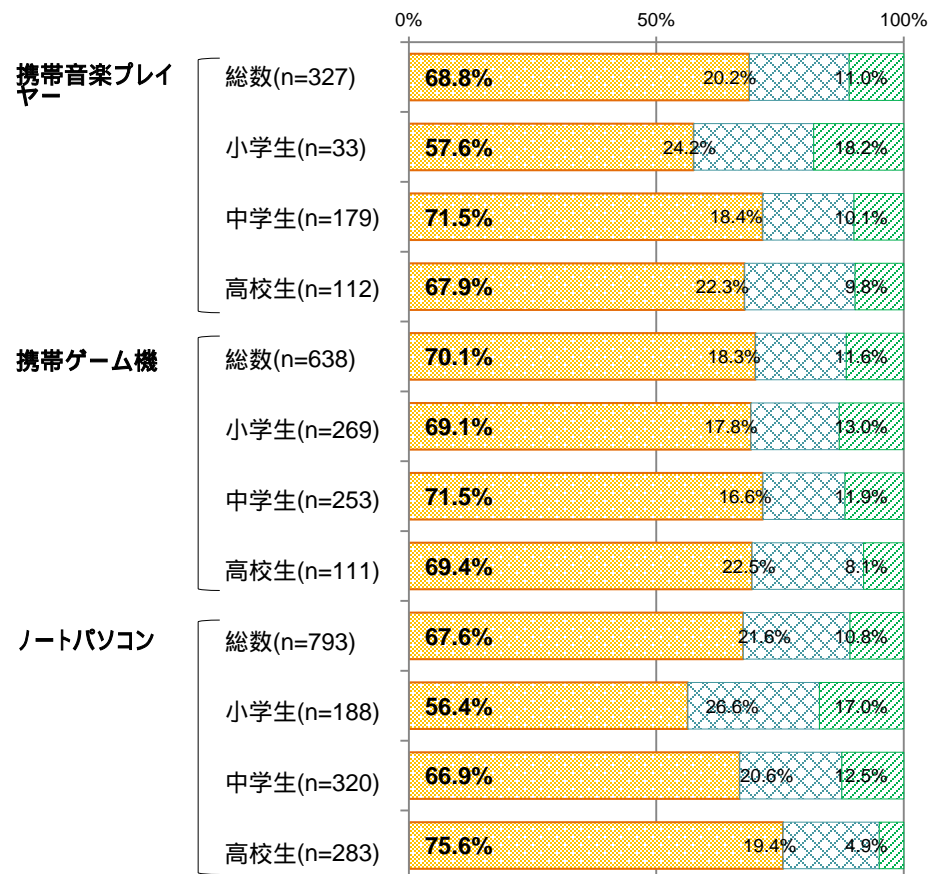
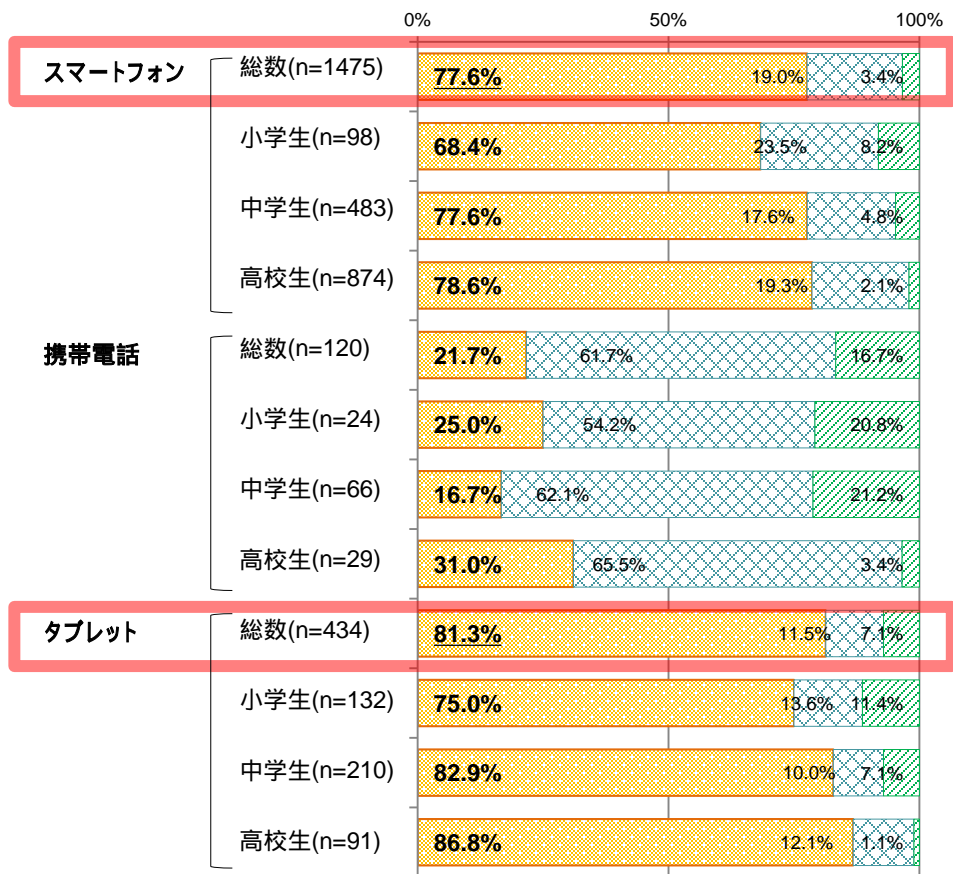
(注1) 「青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用時間)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 平均時間は、平日(土日を除く)1日あたりの、各利用機器におけるインターネットの平均利用時間の平均値。(「使っていない」は0分とし、「わからない・無回答」を除いて平均値を算出)

青少年のインターネット接続機器における無線LAN回線の利用率は、タブレットで8割強、スマートフォンで7割台後半。

各機器における無線LAN回線の利用状況

使っている
 使っていない
 わからない
 (青少年調査Q5)



(注) 「青少年の無線LAN回線の利用状況」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

ポイント 保護者のインターネットの利用状況 - 1 (インターネット利用率)

保護者の9割強がいずれかのインターネット接続機器でインターネットを利用。
 インターネットを利用する機器は、スマートフォン(68.1%)、ノートパソコン(46.0%)、デスクトップパソコン(24.1%)、タブレット(17.9%)、携帯電話(14.2%)が上位。

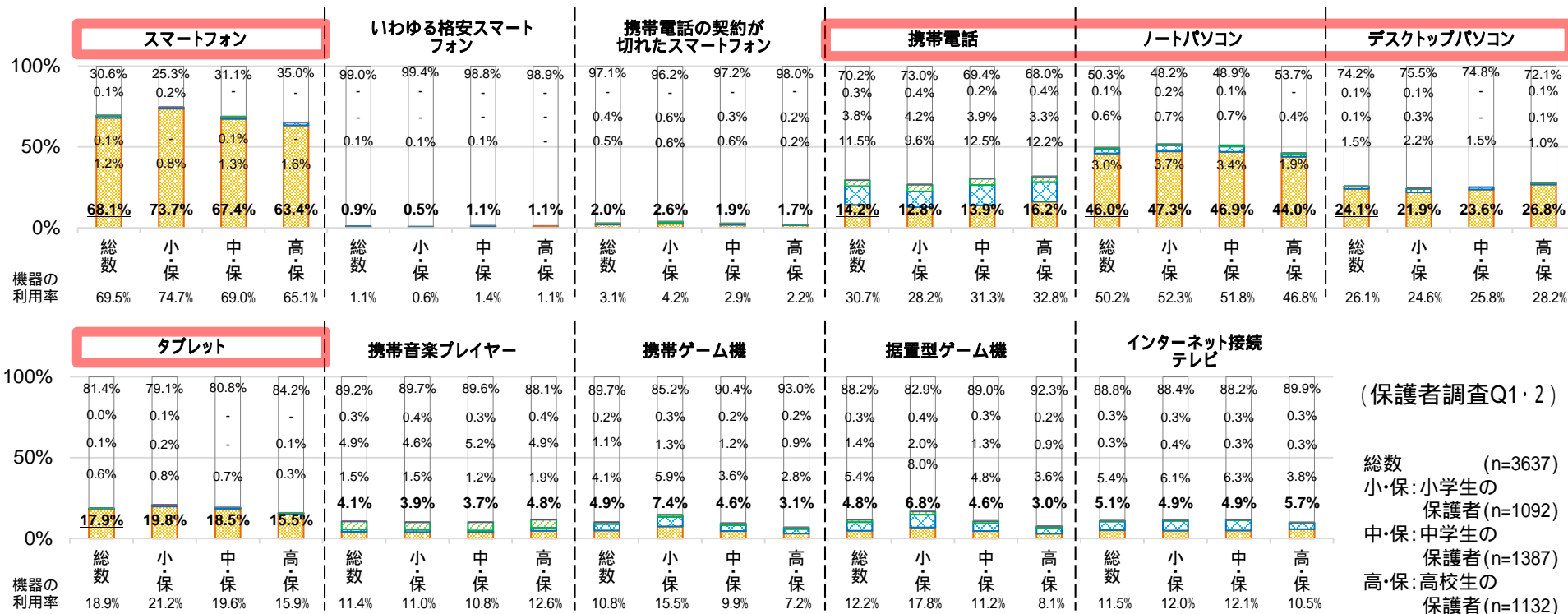
各機器における保護者のインターネット利用状況

いずれかの機器を利用する割合
 総数:97.2% 小・保:97.8% 中・保:97.3% 高・保:96.6%

いずれかの機器でインターネットを利用する割合
 総数:91.8% 小・保:93.3% 中・保:92.6% 高・保:89.4%

- : 機器を利用していない
- : 機器を利用しているが、インターネットを利用しているかわからない(1)
- : 機器を利用しているが、インターネットが使えない機種・設定のため、インターネットを利用していない(2)
- : 機器を利用しているが、インターネットが使える機種・設定だが、インターネットを利用していない(3)
- : 機器を利用しているが、インターネットを利用している(4)

機器の利用率 : 機器を利用している割合の合計値((1)+(2)+(3)+(4))



(保護者調査Q1・2)

総数 (n=3637)
 小・保:小学生の保護者(n=1092)
 中・保:中学生の保護者(n=1387)
 高・保:高校生の保護者(n=1132)

(注1) 「保護者のインターネットの利用状況 - 1(インターネット利用率)」の数値は、回答した保護者全員をベースに集計。

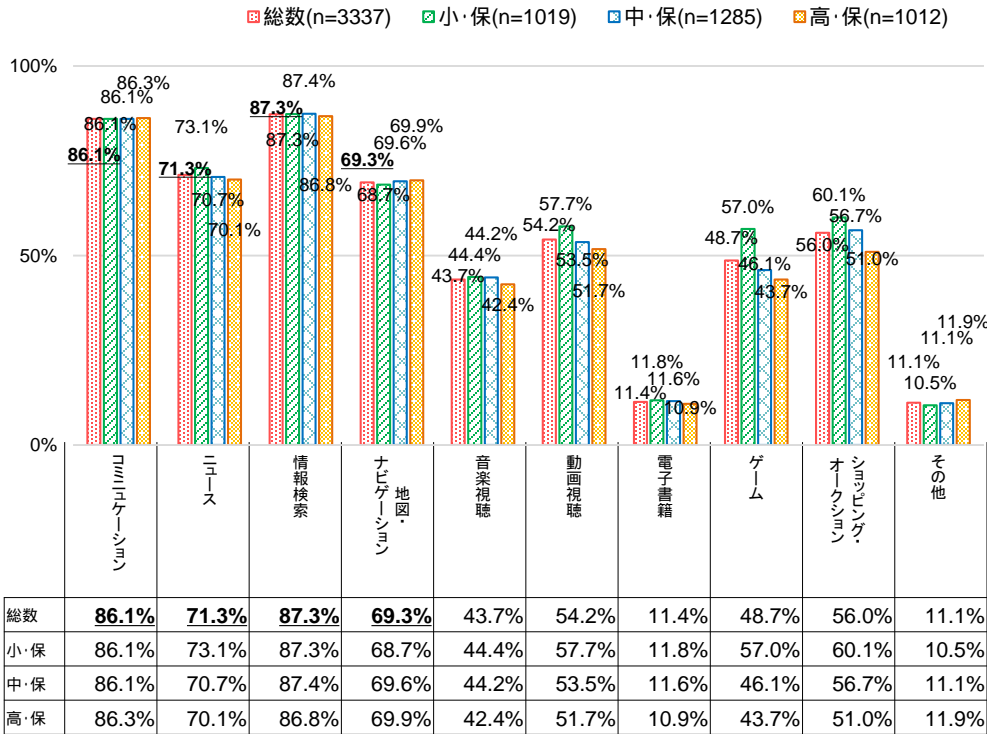
(注2) 「いずれかの機器」とは、保護者に対して調査したインターネット接続機器の11機器。

保護者のインターネットの利用内容は、情報検索 (87.3%)、コミュニケーション (86.1%)、ニュース (71.3%)、地図・ナビゲーション (69.3%) が上位。

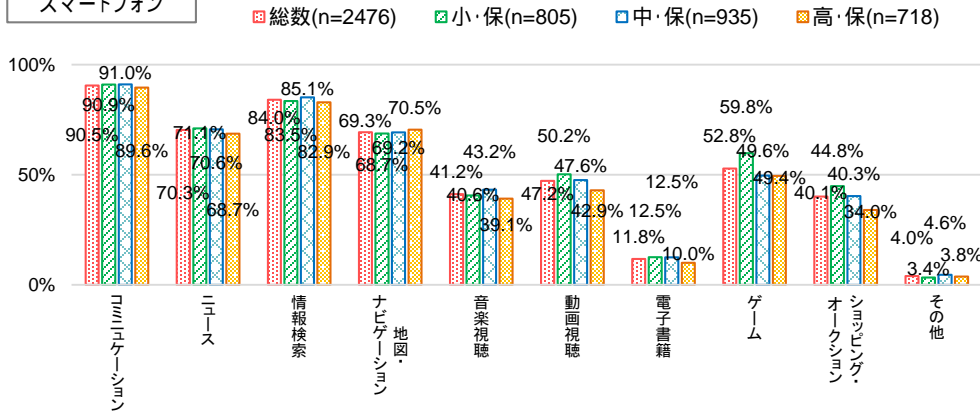
各機器における保護者のインターネット利用内容

(保護者調査Q3)

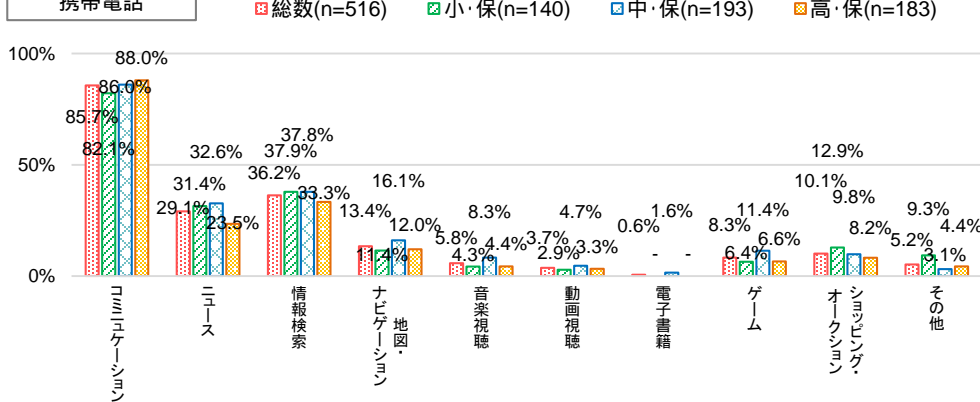
いずれかの利用機器



スマートフォン



携帯電話

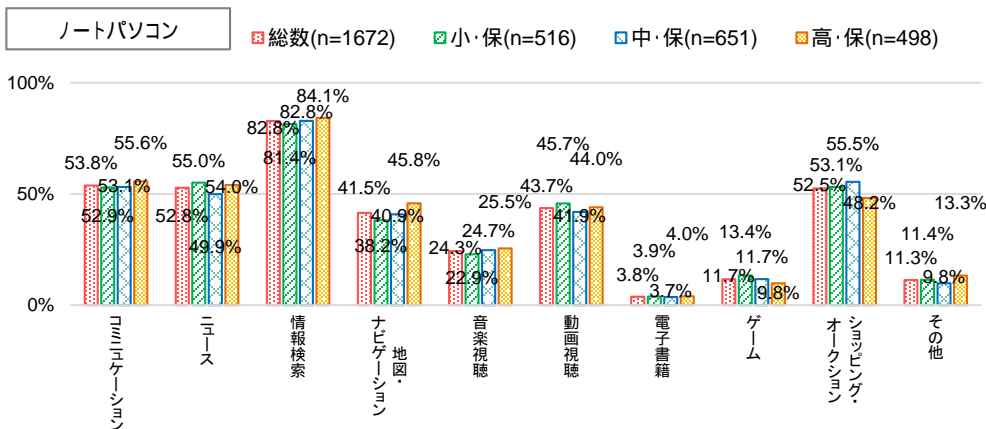
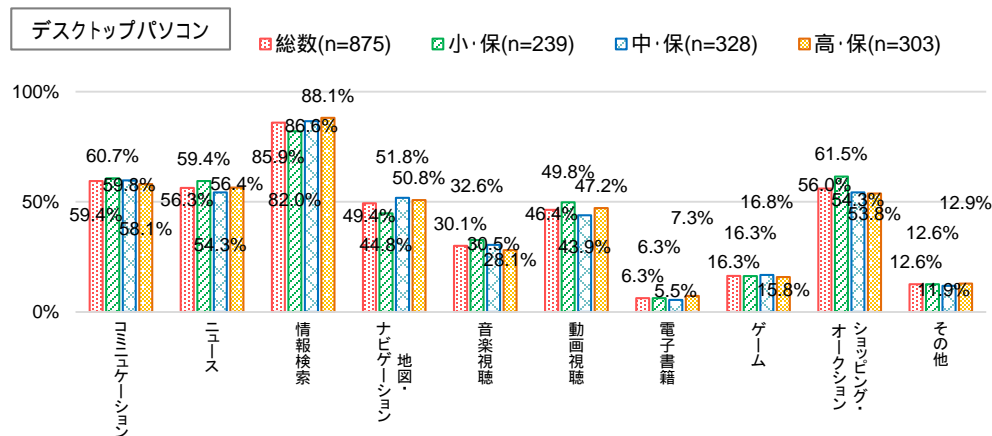
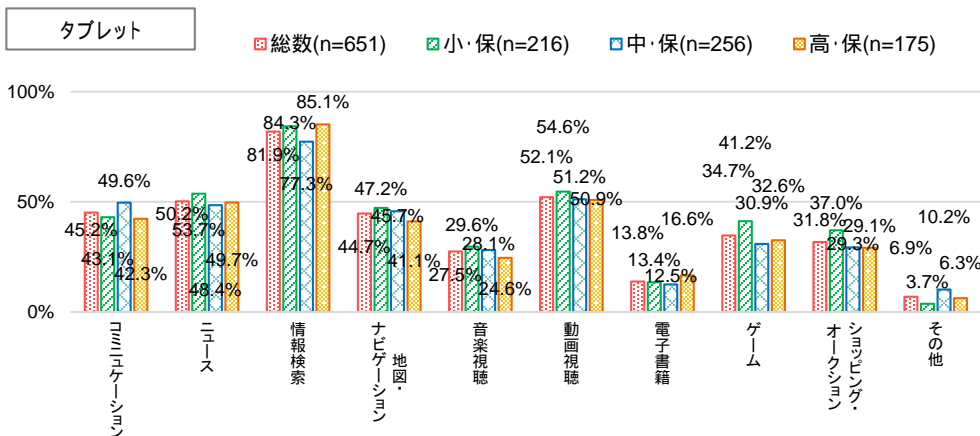


(注1) 「保護者のインターネットの利用状況 - 2 (利用内容)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 「いずれかの利用機器」は、保護者に対して調査した11機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

各機器における保護者のインターネット利用内容

(保護者調査Q3)

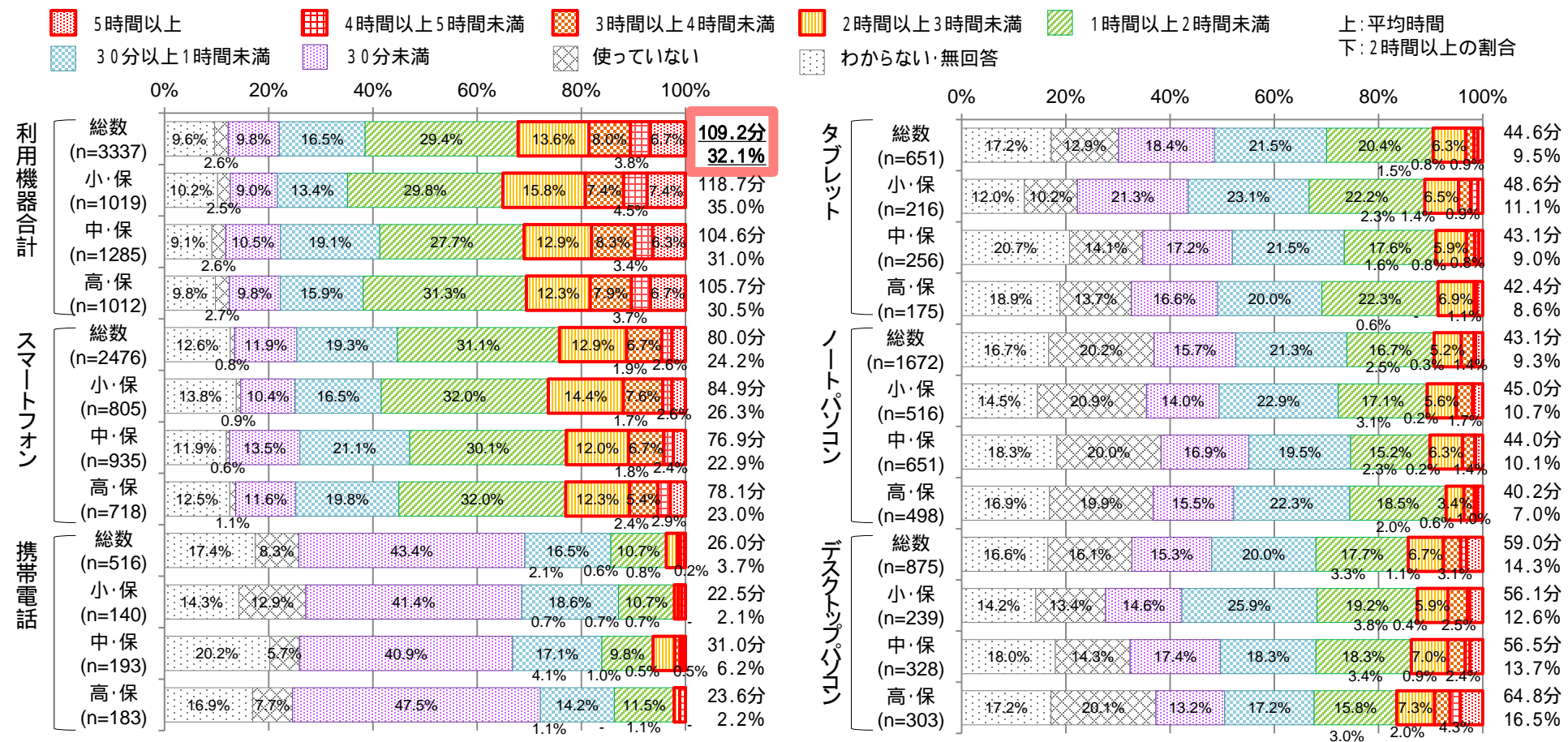


(注) 「保護者のインターネットの利用状況 - 2 (利用内容)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

インターネットを利用している保護者のうち、3割台前半が2時間以上インターネットを利用。平均時間は約109分。

各機器における保護者のインターネットの利用時間

(保護者調査Q4)



(注1) 「保護者のインターネットの利用状況 -3 (利用時間)」の数値は、各機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 平均時間は、平日(土日を除く)1日あたりの、各利用機器におけるインターネットの平均利用時間の平均値。「使っていない」は0分とし、「わからない・無回答」を除いて平均値を算出

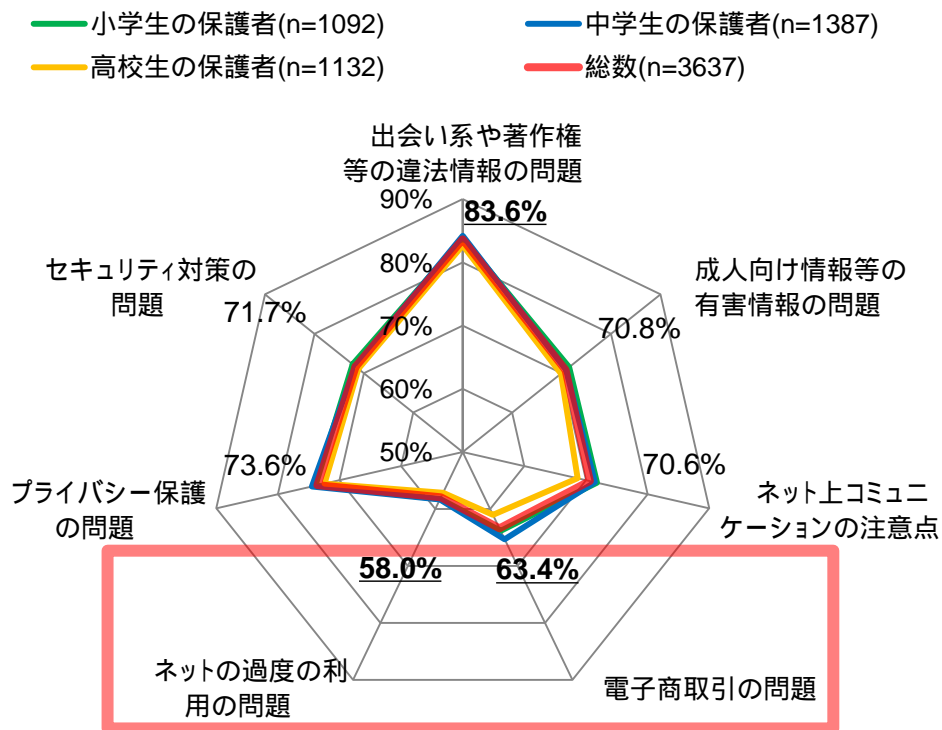
(注3) 「利用機器合計」は、「いずれかの機器(11機器)」でインターネットを利用していると回答した保護者の各利用機器における平均利用時間を合算した個人の延合計時間。

(注4) 「利用機器合計」の平均時間は、「いずれかの機器(11機器)」でインターネットを利用していると回答した保護者全員(n=3337)の「利用機器合計」を合算し、保護者の人数で除して算出。

保護者自身のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知は、「出会い系や著作権等の違反情報の問題」(83.6%)については高く、「ネットの過度の利用の問題」(58.0%)、「電子商取引の問題」(63.4%)は低い傾向。

保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知

(保護者調査Q5)



	総数 (n=3637)	小学生の 保護者 (n=1092)	中学生の 保護者 (n=1387)	高校生の 保護者 (n=1132)
出会い系サイトや著作権等の違法情報の問題を知っている	83.6%	83.8%	84.2%	82.7%
公序良俗に反するような情報や成人向け情報等の有害情報に関する問題を知っている	70.8%	71.5%	70.9%	69.9%
インターネット上のコミュニケーションで注意すべき点を知っている	70.6%	71.8%	71.4%	68.6%
クレジットカードの管理等の電子商取引に関する問題を知っている	63.4%	63.8%	65.3%	61.0%
インターネットの過度の利用に関する問題を知っている	58.0%	58.2%	58.3%	57.2%
個人情報やパスワード等のプライバシー保護に関する問題を知っている	73.6%	73.9%	74.5%	72.4%
ウイルス対策や不正アクセス対策等のセキュリティ対策に関する問題を知っている	71.7%	72.3%	71.7%	71.1%
知っている(計)	93.4%	93.7%	94.0%	92.3%
いずれも知らない・無回答	6.6%	6.3%	6.0%	7.7%

(注) 「保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知」の数値は、回答した保護者全員をベースに集計。

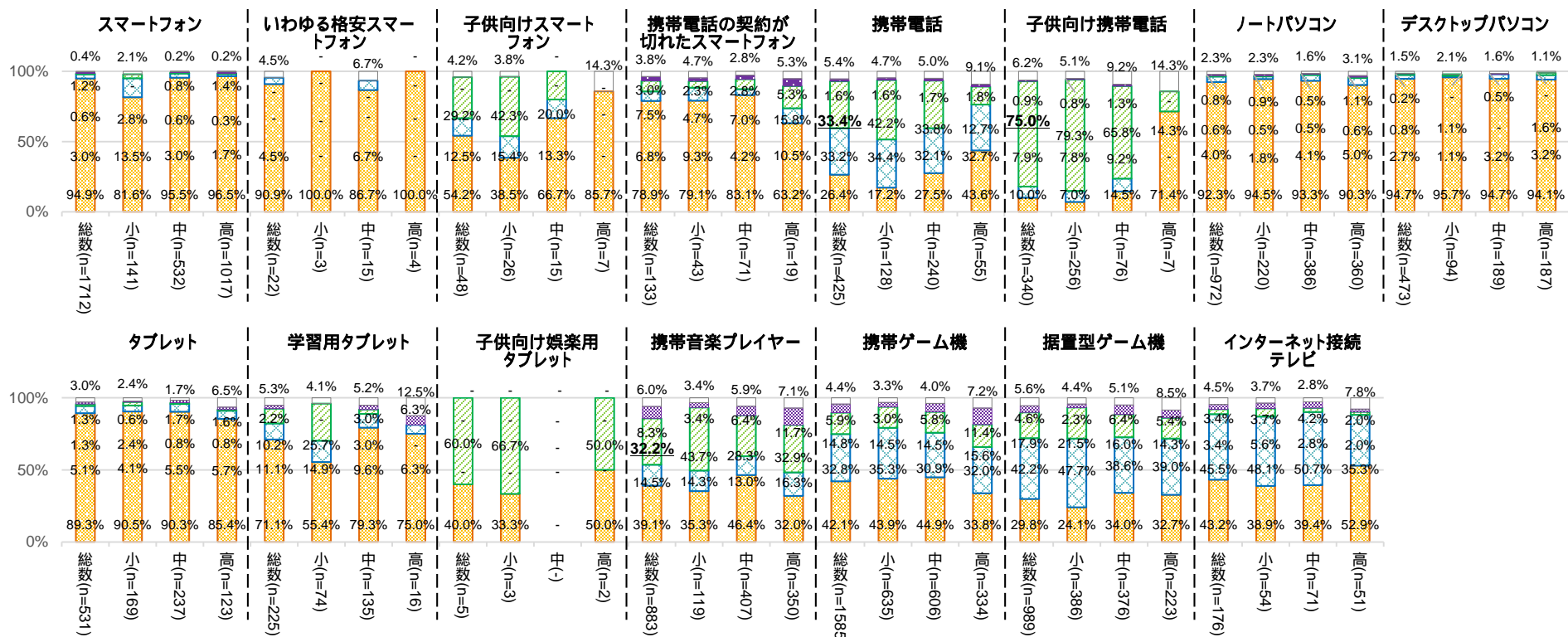
「機器を利用しているが、インターネットが使える機種・設定のため、インターネットを利用していない」との回答は、**子供向け携帯電話 (75.0%)**、**携帯電話 (33.4%)**、**携帯音楽プレイヤー (32.2%)**が上位。

各機器における青少年のインターネット利用に関する保護者の取組

(保護者調査Q7)

- : 機器を利用して、インターネットが使える機種・設定だが、インターネットを利用していない
- : 機器を利用して、インターネットを利用している

- : 無回答
- : 機器を利用しているが、インターネットを利用しているかわからない
- : 機器を利用しているが、インターネットが使える機種・設定のため、インターネットを利用していない

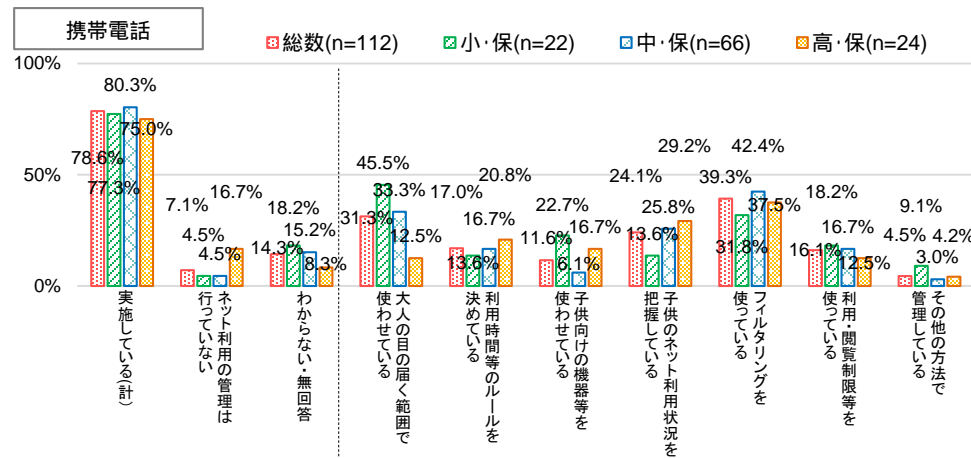
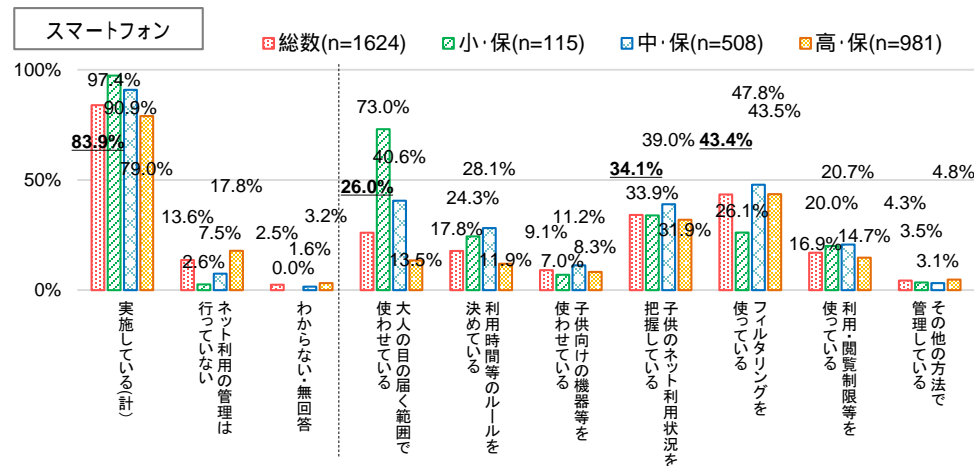


(注) 「青少年のインターネット利用に関する保護者の取組 - 1(利用状況)」の数値は、青少年がいずれかの機器 (15機器) を利用していると回答した保護者をベースに集計。

青少年がスマートフォンを利用する保護者のうち、8割前半がいずれかの方法で青少年のインターネット利用に関する取組を実施。実施している取組は、「フィルタリングを使っている」(43.4%)、「子供のネット利用状況を把握している」(34.1%)、「大人の目の届く範囲で使わせている」(26.0%)が上位。

各機器における青少年のインターネット利用に関する保護者の取組

(保護者調査Q8)



参考値 フィルタリング等利用率 (保護者調査Q7、8)

機器の利用者	(1) Q7「機器を利用しているが、インターネットが使えない機種・設定のため、インターネットを使っていない」に該当	(2) Q8「フィルタリングを使っている、又は「利用・機能制限機能等を使っている」に該当	「フィルタリング等利用率」 ((1)と(2)のいずれかに該当)
スマートフォンの利用者(計)(n=1871)	1.8%	44.5%	46.2%
スマートフォン(n=1712)	0.6%	46.4%	47.0%
いわゆる格安スマートフォン(n=22)	-	31.8%	31.8%
子供向けスマートフォン(n=48)	29.2%	35.4%	64.6%
携帯電話の契約が切れたスマートフォン(n=133)	7.5%	14.3%	21.8%
携帯電話の利用者(計)(n=760)	52.0%	9.1%	61.1%
携帯電話(n=425)	33.4%	12.2%	45.6%
子供向け携帯電話(n=340)	75.0%	5.0%	80.0%

(注1) 「青少年のインターネット利用に関する保護者の取組 - 2 (取組内容)」の数値は、青少年がいずれかの機器(15機器)を利用して、インターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。

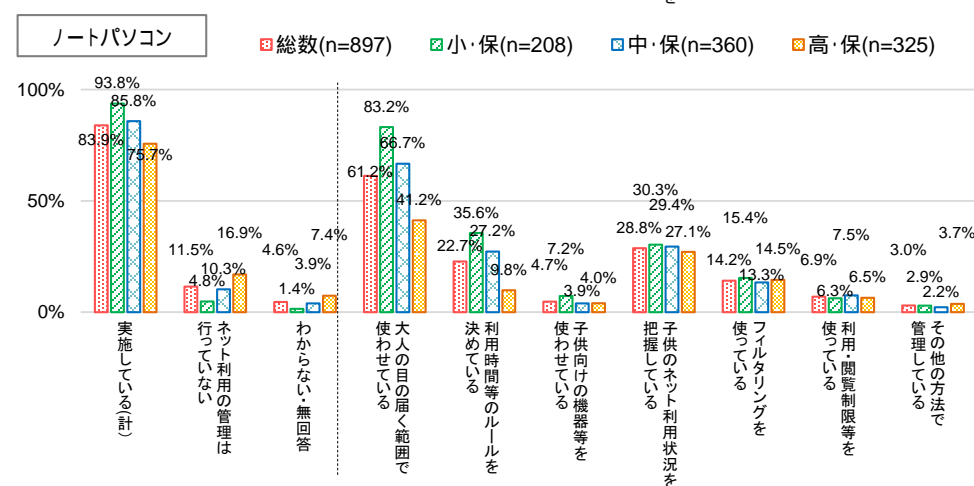
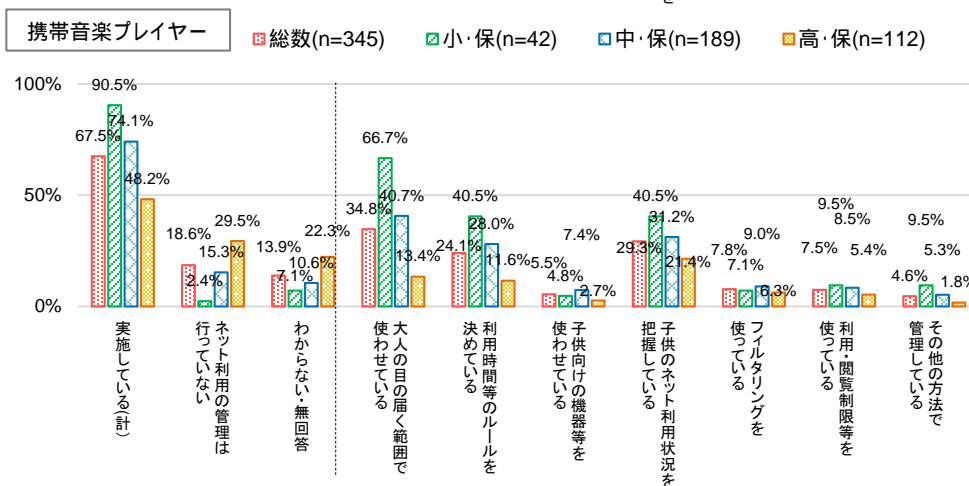
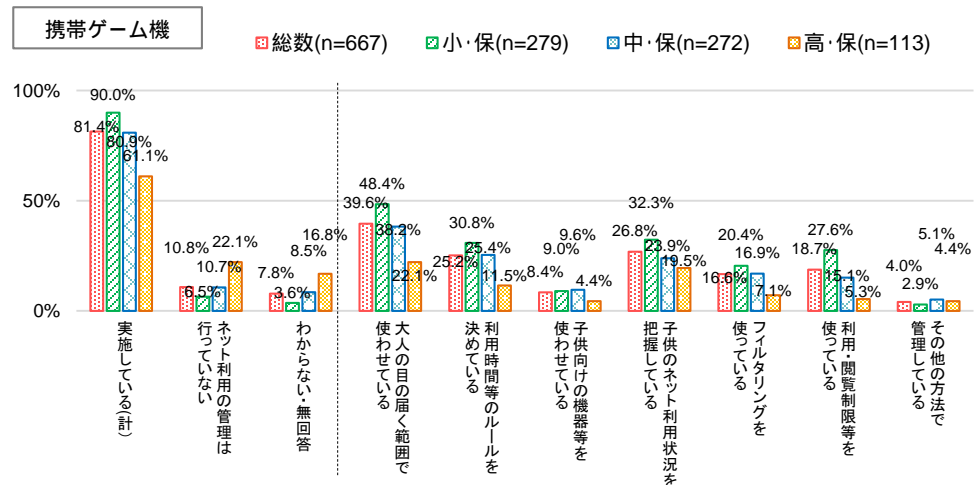
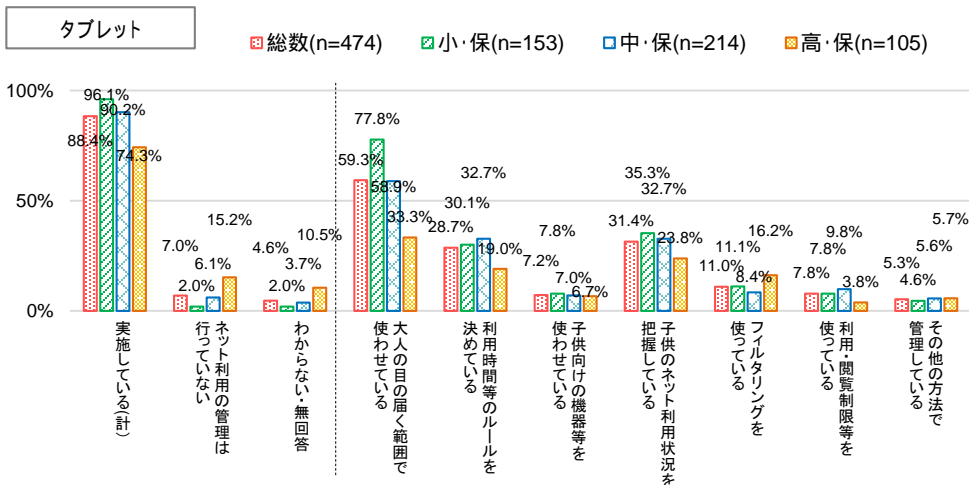
(注3) 「フィルタリング等利用率」の数値は、青少年がいずれかの機器(15機器)を利用して、インターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。青少年が利用する各機器において、Q7において「機器を利用しているが、インターネットが使えない機種・設定のため、インターネットを使っていない」に該当、ないし、Q7において「機器を利用していて、インターネットを利用している」と回答したもののうち、Q8において「フィルタリングを使っている」又は「利用・機能制限機能等を使っている」に該当する率を算出。

(注4) 「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した保護者。「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを利用すると回答した保護者を合算したものの。

(注5) 「青少年のインターネット利用環境実態調査」は、平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果と直接比較できない。

各機器における青少年のインターネット利用に関する保護者の取組

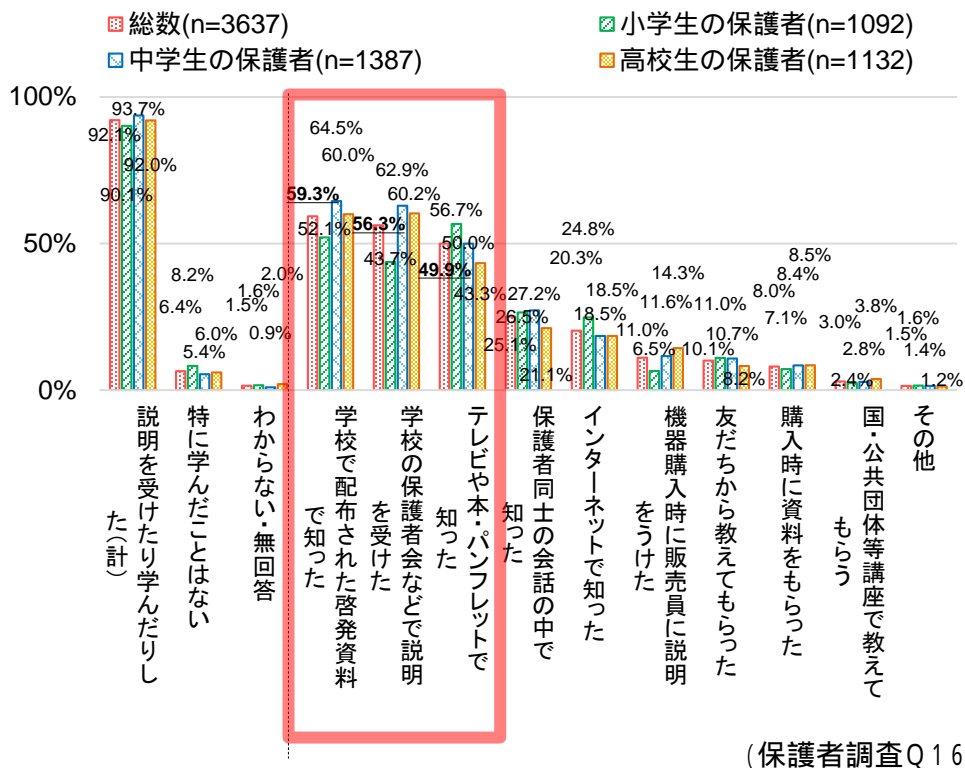
(保護者調査Q8)



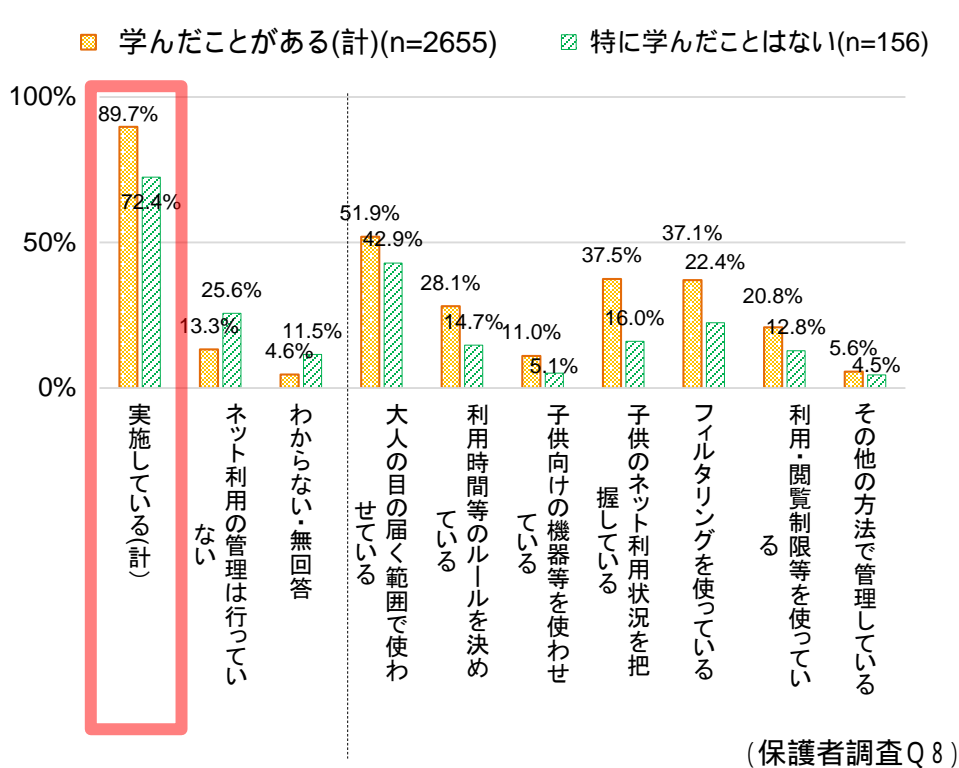
(注) 「青少年のインターネット利用に関する保護者の取組 - 2 (取組内容)」の数値は、青少年がいずれかの機器(15機器)を利用して、インターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験は、「学校で配布された啓発資料で知った」(59.3%)、「学校の保護者会などで説明を受けた」(56.3%)、「テレビや本・パンフレットで知った」(49.9%)が上位。
 青少年のインターネット利用に関する保護者の取組を「実施している(計)」との回答は、啓発や学習の経験のある保護者の方が高い。

保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験



青少年のインターネット利用に関する保護者の取組【啓発経験の有無別】



(注1) 「保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験」の数値は、回答した保護者全員をベースに集計。

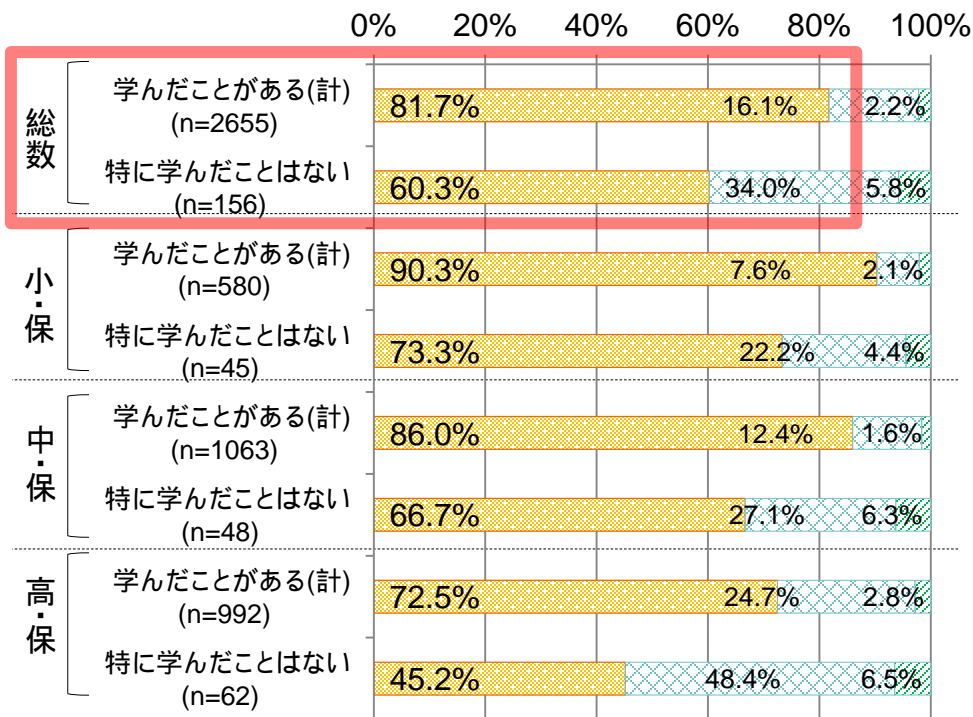
(注2) 「青少年のインターネット利用に関する保護者の取組【啓発経験の有無別】」の数値は、青少年がいずれかの機器(15機器)を利用して、インターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

青少年のインターネットの使い方についての家庭のルールに関しては、「ルールを決めている(計)」との回答は、啓発経験のある保護者が高い。

また、青少年の実態と保護者の認識とのギャップが見られ、「ルールを決めている(計)」との回答は、いずれの学校種でも保護者の回答が青少年の回答を上回っている。

保護者の啓発経験の有無

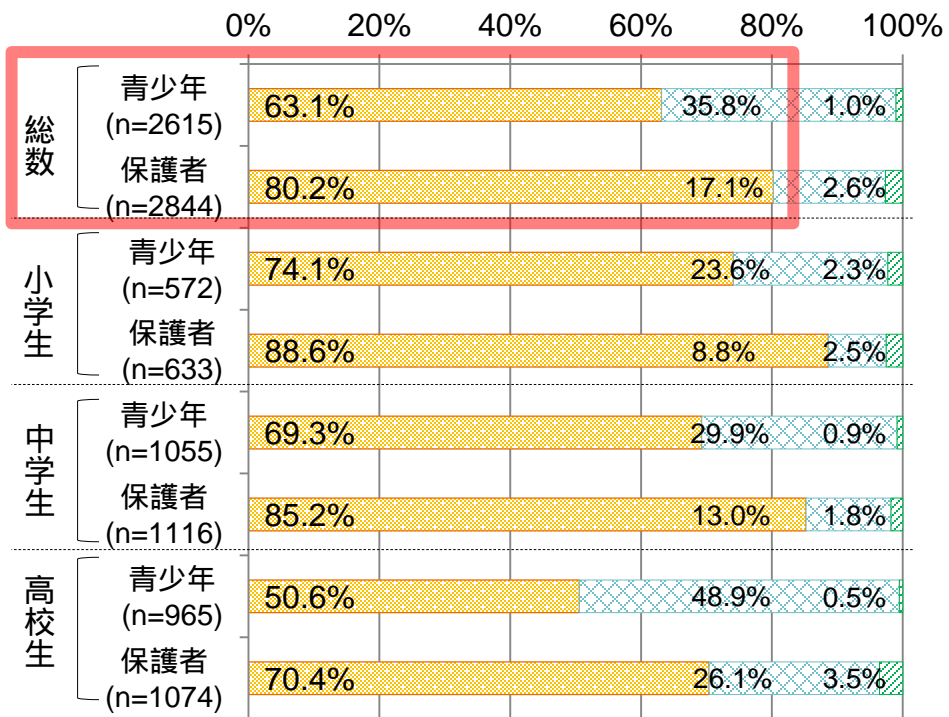
■ルールを決めている(計) □特にルールを決めていない ▨わからない・無回答



(保護者調査Q9)

青少年の実態と保護者の認識とのギャップ

■ルールを決めている(計) □特にルールを決めていない ▨わからない・無回答



(青少年調査Q7・保護者調査Q9)

(注1) 「保護者の啓発経験の有無」の数値は、青少年がいずれかの機器(15機器)を利用して、インターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

(注2) 「青少年の実態と保護者の認識とのギャップ」の数値は、いずれかの利用機器(15機器)でインターネットを利用していると回答した青少年及び、青少年がいずれかの機器(15機器)を利用して、インターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。